

公民館との関わり

角盤町二丁目

大西 昭彦

今から22年前、リタイアした翌年、平成16年の3月のことである。私の所属する班の班長から「自治会長が退任するので後任を決める総会が開催される。欠席すると欠席裁判で当てられるかもしれない。」と、言われた。仕方なく出席すると、司会者が「欠席裁判はしない」とのこと。あれ、話が違っじゃない。各々が推薦した人を選挙で決めることになった。瓢箪から駒で、後任にされてしまった。それまで自治会との関わりは妻に一任。私は自班の葬儀の手伝いにしか出たことがない。面識ある方は少ない。生来能天気な性分。受けてしまった。

館報

啓成

けいじょう

公民館には、愛犬の予防接種で前

庭までしか入ったことが無かった。

定例会で初めて公民館内へ。諸先輩

の方々に色々と指導を受けた。中

も当時の公民館長寺岡氏の「公民館

と自治会とは車の両輪である」の言

葉に感銘を受けた。以後、公民館行

事への積極的な参加を呼び掛けた。

令和元年度で自治会長を退任した

が、素晴らしい先輩・友人・知人を

得たことは、私の喜びであり財産で

ある。これも当時の班長さんのお蔭

である。

「ありがとう」の半世紀

博勢町四丁目

遠藤 良子

今、振り返り思い起こすと、私の人生の中でこの半世紀は最も充実

■ 令和3年7月号 ■

—— 啓成公民館 ——

☎ 33-9075

特集!

それぞれの
半世紀

いろいろ
ありました



をしていた『とき』でありました。

半世紀前半は、ひたすら幼児保育に

力を注ぎ、後半は退職後で地域のボ

ランティアとしての活動に一生懸

命であつたと思います。

50年前は、夢に向かい希望を持ち

順風満帆の昭和の中途、35歳の頃で

世の中も高度成長経済に酔い、平

和・男女協働・同権・共働き等が常

道の社会でした。

全国に先駆け生後43日からの乳

幼児を公立保育園でお預かりし、30

名のスタッフと頑張った事は私の

人生での宝のひとつです。

青少年の健全育成を掲げ、少年

院・児童養護施設等に訪問をする中

で思ふことは、(家庭教育)(愛情を

感じずに生育)など、大人側に責任

が在ることを考え更生保護活動に

意義を感じ継続活動をしています。

この地域に生まれて育てて頂き、

退職後は現職中に受けた知識や経

験が支えや道標となっている事に

感謝です。

夫は早く逝去しましたが、2人の

子ども、4人の孫、近隣の方々、よ

き友人たちに恵まれ最高の人生で

あつたと思います。(惜別の辞では

ありません)

啓成地区の住民で良かった!

ありがとう!



試され続けています

米原三丁目 自治会長

武甕 延雄

四半世紀前のこと、両親が病気で相次いで他界し祖母が一人残され急遽、都会から啓成校区に戻ってきました。父が担っていた自治会役員をそのまま引き継ぎ、現在に至ります。

「頼まれごととは試されごと」って聞きました。頼まれるからには少なくとも一人は自分ならできると思っていたらいるというところで、自分を気に留めてくれたその思い

あなたの心に残る出来事は？ そして、それぞれの半世紀は？

1971年（昭和46年）

- ・ソ連が世界初宇宙ステーション打上。
- ・ソ連探査機による初の火星着陸成功。
- ・映画「小さな恋のメロディ」
- ・大阪万博タイムカプセル EXPO' 70 を大阪城天守閣前に埋設。（1号機は、5千年後6970年開封予定。2号機は西暦2000年開封後、以後100年ごとに開封される。）
- ・米子市の明道、義方、就将、啓成校区に公民館を設置。

1972年（昭和47年）

- ・沖縄返還され沖縄県が復活。
- ・国鉄新幹線が岡山まで延長。
山陽新幹線（新大阪～岡山）が開業。
- ・米子市富士見土地区画整理事業完成。

（S35 整理区域決定から12年）

戦災を受けていない地域が困難を乗り越えて、大規模な区画整理事業を完成した功績により建設大臣から表彰を受ける。

1973年（昭和48年）

- ・第1次オイルショック。全国的にトイレットパーパー騒動が発生。

.....

にできるだけお答えさせていただけるように「できる事しかできないよ」の言葉を添えて、それでもいいと言っていたければ試されるようにしています。やるからにはこ

とん楽しんじゃえ！って思っています。できないことは周りの人を巻き込みながら進めてきました。ご迷惑をお掛けした方も多々おられると思っております。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

これからも、一生暮らしていくこの地域が住みやすくなるように楽しんで活動していきます。

わたしの半世紀

博労町三丁目1区 自治会長

濱田 宏

今から半世紀前、いったい自分は何をしていただろう。ちょうど啓成小学校を卒業し、米子市立第一中学校に入学した年である。

それから中学校、高校と卒業し、縁あって日本国有鉄道に就職した。一時は米子を離れ、関西地方に移ったが、縁あって再度、米子に移住した。それから結婚し、子どもも誕生し、2019年7月に42年間の車両検修業務を卒業した。その間、国鉄改革からJR発足というまさに激動の時代を経験しながら、上司、仲間からの温かいお力添えを頂いたお陰で充実した鉄道人生を送ることができたと感じている。

在職中から自治会長の推薦をうけ町内の役員を仰せつかり、今年の4月、自治会長という重責が回ってきた。前会長が全ての資料をUSBメモリに入れてくれたが、小さなチップには大きな世界が詰まっている。参った、参ったと頭を抱える始末であった。でも電車は発車しており、飛び降りる訳には行かない。

町内会の歴史を紐解けば、古くは戦時中からだと聞いている。向こう三軒両隣、困った時はお互い様の精神で、啓成地区が米子で一番住みやすい地区とするために自分が何をすべきか。今後、自分に課せられた責務だと、肝に銘じているところである。

歴史ある自治会活動の中で、私の曾祖父、ふだりの叔父が自治会長を歴任している。濱田家はそういう家系なのかと感じつつ、啓成公民館50周年という節目の年に、私が自治会長に就任したことに何かしらの縁を感じ、誇りに思っているところである。



五十年前・・・

東福原一丁目

秋田 治美

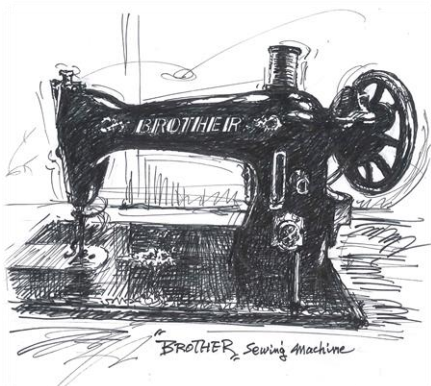
50年前、私は小学生でした。小学生の私に、母はミシンでいろいろな服を作ってくれました。私の服だけでなく、近所の人にも日常使える布製のかばんを作ったり、時には手縫いで浴衣を縫ったりしていました。母がミシンの前に座って、いろいろな作っている姿は、今でも脳裏に浮かんできます。その頃の私は、ミシンを使って、見よう見まねで余り布を重ねて縫うことを楽しんでいました。時々、母は、返し縫や針に糸を通すことなどそれとなく教えてくれました。少しミシンが使えるようになると、余り布で小物を作り、母の日にプレゼントをするのが楽しかったことを思い出します。どんなものでも母は、「ありがとう」と言って受け取ってくれました。

中学生になると、夏休みの作品は、毎年自分の着る洋服でした。母と一緒に布を買いに行き、型紙の作り方やミシンの使い方を教えてもらいながら、何日もかかって作ったことを思い出します。1枚の布から作品

ができることは、ワクワクする喜びが感じられました。一番心に残っていることは、ボタンホールを一針一針一生懸命に縫ったことです。

そんな母は、20年前に亡くなりました。でも今、私は、孫の洋服やバッグ等作ったりすることを楽しんでいます。特に、双子の孫の洋服作りは楽しくてしょうがありません。半世紀前のミシンとの出会いが、私の人生に、もの作りをするきっかけを作ってくれたと思います。

今年小学3年生になった双子の孫たちは、余り布やフェルトを切ったり貼ったりして作品を作ることを楽しんでいます。そんな姿を見ると、自分の小学生の時のことを思い出します。何といっても楽しいと思うことが一番！これからも、色々な作品作りを楽しんでいこうと思います。



啓成校に思いをよせて

啓成小学校 校長

隠樹 佐与志



私にとって校長として初めて着任した学校がこの歴史と伝統のある啓成

小学校です。高い目標に向かって、困難にもめげずにやり遂げようという「向上進取」「不撓不屈」の精神は、私自身、たくさんの方との出会いや経験の中から自然と学び、大切にしてきたものです。啓成小の子どもたちはそれを学校生活の中で大切に、脈々と受け継ぎ、心に刻んでいるものと思います。「向上進取」として、一歩ずつ折れぬ心もて」と。子どもたち一人ひとりが将来に向けての夢を持ち、その夢を実現するために努力できる人になること。そして、卒業してからもふるさとである啓成地区、啓成小をずっと大切に行ける人になってほしい。これが今の私の夢の一つで、その夢を実現するために啓成小全職員で最大限の努力をしていきます。



啓成小学校の伝統を未来につなげていく役割を、校長としてしっかりと果たしていきます。よろしくお願いします。

「私のライフワーク・

ボランティア活動」

米子東保育園 園長

石田 江美子

東保育園の園長として赴任し、3年目になりました。

地域の皆様にはいつもお世話になりありがとうございます。さて今回、私がライフワークにしているボランティア活動について少し書かせていただこうと思います。

下の子が小学校に入ると同時に「米子水鳥公園子ども野鳥クラブ」(現在の子どもラムサールクラブ)に入会しました。月に1回、野鳥や昆虫等の生き物観察、ゴズ釣り等自然と触れ合う体験が出来、生き物に詳しいスタッフの方が丁寧に解説してくださいます。子どもはもちろん喜んで参加していましたが、それ以上に付き添いの私の方がこの活動に魅了され、途中からはボランティアスタッフとして参加させていただくようになりました。自然体験

を通しての気付きや発見を子ども達と共有できることがとても楽しく、四季の自然の素晴らしさに感動する日々です。これからも活動を通して学ばせていただきながら、ボランティアをずっと続けていきたいと思っています。



《編集後記》

私たちはふと、昔の出来事を思い出すことってありますよね。そんな思いで今回、7名の方に原稿をお願いした次第です。「それぞれ」としたテーマは、大げさではなく、普段の生活の中での出来事を、みなさんの視点で記していただきたかったからです。

お一人おひとりの人柄が忍ばれる思い出があります。ありがとうございました。

TOPICS

啓成公民館から生中継！ がいな太鼓啓成子ども連のみなさん

令和3年6月30日（水）啓成公民館から、がいな太鼓啓成子ども連のみなさんの演奏が、中海テレビコムコムスタジオで生中継されました。「新型コロナウイルスの影響で今年も様々なイベントの中止や縮小が続いています。そうした披露する場がない中でも練習を重ねて腕を磨いている人たちがいます」とのスタジオから紹介後、堂々とした迫力のある演奏が生中継されました。

令和3年11月20日（土）啓成公民館創立五十周年式典で、演奏の披露があります。楽しみです。



リハーサル中

啓成納涼フェスティバル



さあ、みんなて" いってみよう！....

8月29日（日）^{ごご}4:30分～6:40

- 啓成小鼓隊クラブ・米子工業高等学校吹奏楽部は（雨天中止）
- ★ クイズトレジャーハンター（地図をたよりに、こたえをさがそう!）
- ★ グラウンドゴルフ・GoGoホールインワン（ホールインワンすると....）
- ★ シールであそぼう（シールをはってオリジナルグッズをつくろう）
- ★ カラータイでお花づくり（パンの袋をとじるキラキラした針金の入ったひもでお花が"つくれるんだって！"しってた？）

● ごご6:15・啓成子ども万灯（雨天中止）

★ 子ども達だけではなく、ご参加のご家族の方も、みなさまに「7つのクイズ」に挑戦していただけます。おたのしみに.....